

# 葉月愛南文芸

## みなみうわ俳句会

鳥を呼び昔日を呼ぶゆすらうめ  
戻ってきた玄関覗く夏燕  
シヤズ流し一日せつせと梅漬ける  
青葉風旅する人を待つており  
橋脚のゲート飛び出す海鷗かな

西海俳句会  
七夕に願う百寿や卒寿過ぎ  
梅雨晴間おもちやを持つてひ孫へ、  
粽蒸し幾年ぶりかと口々に  
醤油屋と味噌屋の団扇三姉妹  
絨毯を外す内陣黒光り

檳榔子俳句会  
半夏生地下足袋ぬげば白き指  
天平の色を纏ひし花菖蒲

木村 智子  
竹村 勝利  
濱 初榮  
清水 麗子  
中川 千代子  
吉田 笑代  
濱木チズエ  
利根早智江  
吉田 勝也  
吉田 弘定

雨蛙傘を壊して子の帰る  
そぼ濡れて色きはだてる花菖蒲  
埃被るピアノを磨く五月晴  
半夏雨二級河川のざわめく夜  
花菖蒲茶会帰りの鮫小紋  
行く雲を急かせるように雨蛙  
床下に放る乳歯や半夏生  
剪られれば風脱ぎ捨つる花菖蒲

内海俳句会  
踊る手に老いの法楽かざしけり  
おせいの駄賃におせふ妻こがし  
山峡の静寂えなだる蝉時雨  
墓啼くや渡世の闇え独を曳きぬ

岩森十志子  
太田 信子  
吉田 朝子  
山口 和子  
山口 董  
濱野 康子  
田中 博子  
三好ミキエ  
吉田モミエ  
井上 論夫

### ▶俳人をご紹介します

#### 西海俳句会 利根早智江さん(中泊)

西海俳句会は昭和46年6月、「坂本碧水先生を指導者として招き、みんなで俳句を始めてみないか」と、当時の船越公民館長さんの発案から発足した会です。当時は5~6人と少人数で行っていましたが、翌年には22人ものが員が集まり、句集「涛」を発行して頂けるほどにぎやかに楽しんで活動しておりました。



「言葉は優しく、思いは深く」という坂本先生のお言葉を心に留め、現在まで句を作り続けております。

今後はぜひ、西海俳句会に若く新しい会員が増えることを願い、続けられる限り俳句作りを楽しみたいと思います。

## はじめまして。赤ちゃん。

6月受け付け分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

6月受け付け分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。